

令和4年度 国語科「現代の国語」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・1学年・全クラス
教科書	『探究 現代の国語』(桐原書店)	副教材等	『新訂国語図説六訂版』(京都書房) 『現代文キーワード読解[改訂版]』(Z会出版) 『現代文解法のテクニック3 改訂版』(啓隆社)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。	河合隼雄 『ふしぎと人生』	筆者のものの見方や感じ方を理解するとともに、自己を見つめ、自己の生き方を模索するきっかけを得る。	・講義形式の一斉授業 『ふしぎと人生』の読解を通して、随想の基本的な読み方を習得し、二項対立的な思考について理解する。 ・ペア学習 「物語」についての筆者の捉え方に対する自分の考えをまとめ、その考えを発表し合い、自分の考えを深める。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
5	・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝えあう内容を検討している。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・論理的に考える力深く共感したり豊かに想像したりしようとしている。	佐藤卓 『ほどほどのデザイン』	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、日本の文化や言葉について自分の考えを深める。	・講義形式の一斉授業 『ほどほどのデザイン』の読解を通して、評論の基本的な読み方を習得し、対比構造を理解しながら、筆者の主張を的確に捉える。 ・班学習 日本のデザインの特長について、海外の人に紹介することを想定しながら資料にまとめている。また、資料を効果的に用いながら発表している。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
		原研哉 『マヨネーズの穴から』 大井玄 『環境世界』	評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。	・講義形式の一斉授業 評論の基本的な読み方を習得するとともに、話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。また、本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
6	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	山崎正和 『サイボーグとクローン人間』	論理性に着眼して評論を読み解く方法を学んで筆者の考えをまとめ、現代の科学や創作的に読むことについて自分の考えを深める。	・講義形式の一斉授業 『サイボーグとクローン人間』の読解を通して、二項対立による比較対照に着目し、筆者の主張を的確に捉える。また、現代の科学や社会のあり方について自分の考えを深める。 ・科学技術の発展が人の考え方に影響を及ぼした例を考え、文章にまとめる。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
7	・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にしているとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ・論理的に考える力深く共感したり豊かに想像したりしようとしている。	中村桂子 『紫外線』 川田順造 『人類学から見た言語』	評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。	・講義形式の一斉授業 評論文の基本的な読み方を習得し、具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。また、論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
		・実用的な文章1 学級日誌を書く ・実用的な文章2 文化祭を企画する	実用的な文章の意義と読み解き方を習得し、実社会でも役立つ文章作成を養成する。	・講義形式の一斉授業 実用的な文章の基本的な読み方を習得する。文章のタイプを判別し、概要を把握したうえで細部に着目するという、実用的な文章特有の読み解き方を身に付ける。また、内容・視覚の両面から、効果的な情報の伝え方を考える。 ・文化祭の企画案を作成し、発表する。 「企てる」タイプの文章にういて、内容・視覚の両面から、効果的な情報の伝え方を考える。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
			期末考査		

9	・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使用している。 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述している。 ・書き上げた文章を自ら俯瞰したり、読み手の助言を踏まえたりしながら、自分の文章の特長や課題を捉え治し、書くことの能力の向上を図ろうとしている。	岩井克人 『経済の論理／環境の倫理』 若林幹夫 『遅れてきた「私」』	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、社会や個人のあり方について自分の考えを深める。	・講義形式の一斉授業 評論の読み方を習得し、論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
10	・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べようとしている。 ・ヒトの社会で共有される「幻想」の例について、自分の経験を通じて考えようとしている。	『「社会」の誕生』	対談における論の展開に注意しながら、話者の意見を的確に捉えるとともに、社会のあり方について自分の考えを深める。	・講義形式の一斉授業 『「社会」の誕生』を通して、対談という形態において、それぞれの話者が持つ役割を理解する。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・日米の老兵たちとの対話から筆者が得たものを確認し、筆者の姿勢から学ぶべき点を、自らのレポート執筆に取り入れようとしている。	星野道夫 『アリューシャン、老兵の夢と闇』	他者の生き方から普遍的な価値を見出し、テーマに対する筆者の姿勢を理解したうえで自らの考えを持ち、生きることについての考えを深める。	・講義形式の一斉授業 戦争に対する歴史的事実と体験者の声を表現に即して的確に読み取る。また、筆者の戦争に対する姿勢を参考にして、自らの考えや生きる姿勢を深める。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
中間考査					
11	・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使用している。 ・異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりしている。 ・現代の「食」をめぐる問題について、自分の経験に照らしながら調べ、考えようとしている。	湯澤規子 『食の履歴書』	筆者の主張を踏まえた上で社会の変遷や他者と自分との関係性について自分の意見を持つ。	・講義形式の一斉授業 『食の履歴書』を通して、本文と引用や資料との関係を正確に捉え、筆者の主張を読み取る。また、近代から現代への時代の移り代わりを、「食」の問題を通じて理解する。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
12	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・目的や場に応じて実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。また、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	・実用的な文章3 出国手続きを考える ・実用的な文章4 求人票を読む ・実用的な文章5 全国高校生「好きな漢字」総選挙	実用的な文章の意義と読み解き方を習得し、実社会との関わりを実感をもって捉える。	・講義形式の一斉授業 実用的な文章の基本的な読み方を習得し、文章のタイプを判別し、概要を把握したうえで細部に着目するという、実用的な文章特有の読み解き方を身に付ける。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
				また、「定める」タイプの文章について、その文章が定める内容を読み取り、その内容が実際の社会生活を具体的に規定していることを理解する。	
期末考査					

1	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げ深めている。 ・自分の考えについてスピーチしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論している。 ・言葉を用いる主体としてのあるべき姿勢について、自分なりに考えようとしている。また、考えたことを話し合いを通じて見つめ直し、さらに深めようとしている。	高田明典 『言葉を学ぶとは―「言語ゲーム」の概念』	科学技術や言語についての文章を読んで理解し、筆者の主張を踏まえたうえで、「AI」や「コミュニケーション」といった現代的テーマについて自分の意見を持つ。	・講義形式の一斉授業 『言葉を学ぶとは―「言語ゲーム」の概念』を通して、評論の読み方を習得し、比喻表現が指す内容を正確に押さえ、筆者の主張を把握する。 ・ワークシート、班学習 言葉を用いる主体としてのあり方について、考えを深め、意見交換を行う。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
2	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述や批評をしている。 ・本文の内容を踏まえたうえで、自分の身近な出来事や事柄を具体的に考察することを通じて、歴史に対する自分の考えを見つめ直そうとしている。	内田樹 『歴史は「今・ここ・私」に向かってはいない』	思考の相対化や思想の多様性をテーマとした文章を読んで理解し、筆者の主張を踏まえたうえで、「相対性」や「多様性」といった現代的テーマについて自分の意見を持つ。	・講義形式の一斉授業 『歴史は「今・ここ・私」に向かってはいない』を通して、評論の読み方を習得し、筆者の提示する具体例を丁寧に読み取りながら、哲学・思想分野の評論に親しむ。 ・ワークシート フーコーの歴史観を理解したうえで、歴史に対する自分の考えを見つめ直す。	・授業態度 ・小テスト ・定期テスト ・提出物
3	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・実社会におけるパンフレット類なども参考にし、自身の感覚に根ざした効果的な表現のあり方を工夫しようとしている。	・実用的な文章6 パンフレットを作る	実用的な文章の意義と読み解き方を習得し、実社会でも役立つ文章作成力を養成するとともに、実社会との関わりを実感をもって捉える。	・パンフレット作成、発表 「企てる」タイプの文章について、その文章が伝えようとしていることを読み取り、それを伝えるためにどのような工夫が凝らされているかを考える。また、見せる対象を明確にしたうえで、実際にパンフレットを作成し、発表する。	・授業態度 ・定期テスト ・提出物
期末考査					

3 評価の観点

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
7つの北校力		徹底力・課題発見力	思考力・実践力・創造力	協働力・自己改善力
評価 規 準	A （十分満足できる 探究・活用）	実社会において国語に関する基礎的な力を活用し、目的や身の回りの課題を明らかにした上で、その解決に向け自律的に理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができ、その上で自分の考えを伝えることができている。	文章に親しみ自己を向上させ、言葉を通して課題解決のために他者との話し合いの中で自分とは異なる考えも取り入れ、新しい考えを構築し、課題解決の方向性を打ち出そうとしている。
	B （おおむね満足できる 習得）	国語に関する基礎的な力を活用し、目的や身の回りの課題を明らかにした上で、実社会に存在する課題を授業において意識することができている。	授業の際に、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域で、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を獲得し、自分の思いや考えを広げることができている。	授業において、文章に親しみ自己を向上させ、言葉を通して課題解決のために他者との話し合いの中で自分とは異なる考えを理解しようとしている。
	C （努力を要する 未達）	身の回りの課題を解決する際に、国語の基礎的な力を獲得して活用するための努力を要する。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすために努力を要する。	授業において、文章に親しみ自己を向上させ、言葉を通して課題解決に向け、他者との話し合いの中で自分とは異なる考えを理解するための努力を要する。

4 評価の方法

①授業態度（提出物等含む） ②小テスト（知識、思考力を問う問題） ③定期考査（知識、思考力を問う問題） ④生徒による自己評価（記述問題等も含む）

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

授業中は、黒板に書かれたことをただ写すだけではなく、教員が説明する内容や授業内に気付いたこと、疑問に思ったことを書き留める習慣をつけ、授業後に振り返るなど、積極的かつ意欲的に参加し、自ら学ぶ姿勢を心がけがけましょう。また、分からない語彙の意味については、辞書で調べる習慣をつけ、語彙力を身に付けるように心がけてください。 課題については、指示を正確に読んだ上で、課題に取り組み、期限内に必ず提出をしてください。何となく解き、期限内に提出すれば良いという考えではなく、「分からない言葉の意味を調べる」「間違えた問題は、なぜ間違えたのかを追究する」ということを心がけて取り組むようにしましょう。 小テストは、週に1回程度行います。一問一答形式で覚えるのではなく、概念を理解し、文章の中で意味を理解するようにしましょう。 国語力は全ての教科学習の基礎となります。日常的に新聞や本を読んで、語彙力を身に付けるように心がけてください。 【持ち物について】 ①教科書 ②『新訂国語図説六訂版』（京都書房） ③『現代文キーワード読解[改訂版]』（Z会出版） ④国語辞典（電子辞書でも可） ⑤『現代文解法のテクニック3 改訂版』（啓隆社）
